

令和6年度 国語問題研究協議会

「国語に関する世論調査」に見る日本語の現状

— 言葉、文字・活字文化を見つめ直す —

取組報告 1

義務教育段階における 敬語学習の現状

島根県教育庁教育指導課 義務教育推進室

指導主事 籠橋 剛



1

もくじ

- 1 「敬語の指針」から
- 2 「国語に関する世論調査」
敬語に関する項目の結果から
- 3 「全国学力・学習状況調査」
敬語に関する問題の結果から
- 4 義務教育段階の敬語学習の現状



2

1 「敬語の指針」から



3

1 「敬語の指針」から

「敬語の指針」

- 敬語の内容や使い方についての基本的な解説
- 疑問や議論の対象になりやすい事項の具体的な説明

(平成19年2月2日 文化審議会答申)

○基本的な立場

敬語はコミュニケーションを円滑に行い、確かな人間関係を築いていくために欠かせないものである

(「はじめに」より)



4

1 「敬語の指針」から

敬語 = 自己表現

○敬語の重要性

① 相手や周囲の人と自分との間の関係を表現するものであり、社会生活の中で、人と人がコミュニケーションを円滑に行い、確かな人間関係を築いていくために不可欠な働きを持つ。

② 相手や周囲の人、その場の状況についての、言葉を用いる人の気持ち（「敬い」「へりくだり」「改まった気持ち」など）を表現する言語表現として、重要な役割を果たす。

（第1章「敬語についての考え方」第1「基本的な認識」より）



5

1 「敬語の指針」から

○敬語は、人と人との「相互尊重」の気持ちを基盤とすべきものである。

○敬語の使い方で大切にすべき点

① 敬語は、自らの気持ちに即して主体的に言葉遣いを選ぶ「自己表現」として使用するものである。

② 「自己表現」として敬語を使用する場合でも、敬語の明らかな誤用や過不足は避けることを心掛ける。

（第1章「敬語についての考え方」第1「基本的な認識」より）



6

1 「敬語の指針」から

○敬語を活用できるようになる過程では、学校教育や社会教育での学習と指導（能動的・意図的な学習や教育の機会）が重要な役割を果たす。

○敬語の基礎的な知識は、日常生活で見聞きして習得していく実践的な敬語習得と異なり、学校教育での体系的な学習によって、より効果的に習得できるものと考えられる。現在の社会生活における敬語の重要性を踏まえると、学校教育で行われる敬語の学習・指導は今後とも継続していく必要がある。

（第1章「敬語についての考え方」第2「留意すべき事項」より）



7

2 「国語に関する世論調査」

敬語に関する項目の結果から



8

2 「国語に関する世論調査」 敬語に関する項目の結果から

「あなたは、これからの時代の敬語はどうあるべきだと思いますか。」

- (a) (新しい時代にふさわしく、) 敬語は簡単で分かりやすいものであるべきだ
- (b) 敬語は(伝統的な)美しい日本語として、豊かな表現が大切にされるべきだ ※H9調査は()部なし

	差は 5.5%	H9調査	H16調査	H27調査	差は 38.0%
a		41.4%	33.6%	26.1%	
b		46.9%	53.6%	64.1%	



9

2 「国語に関する世論調査」 敬語に関する項目の結果から

「中学生や高校生が、担任の先生に対して次の場面で敬語を使って話すべきだと思いますか。」

	H9調査	H16調査	H27調査	H27 16-19歳
授業中	69.1%	67.1%	74.6%	89.3%
クラブ活動	67.3%	70.1%	72.6%	86.9%
休み時間 職員室	69.1%	70.0%	73.7%	78.6%
休み時間 学校の廊下	56.6%	56.4%	56.7%	59.5%
放課後道で 会ったとき	61.1%	61.8%	63.5%	60.7%



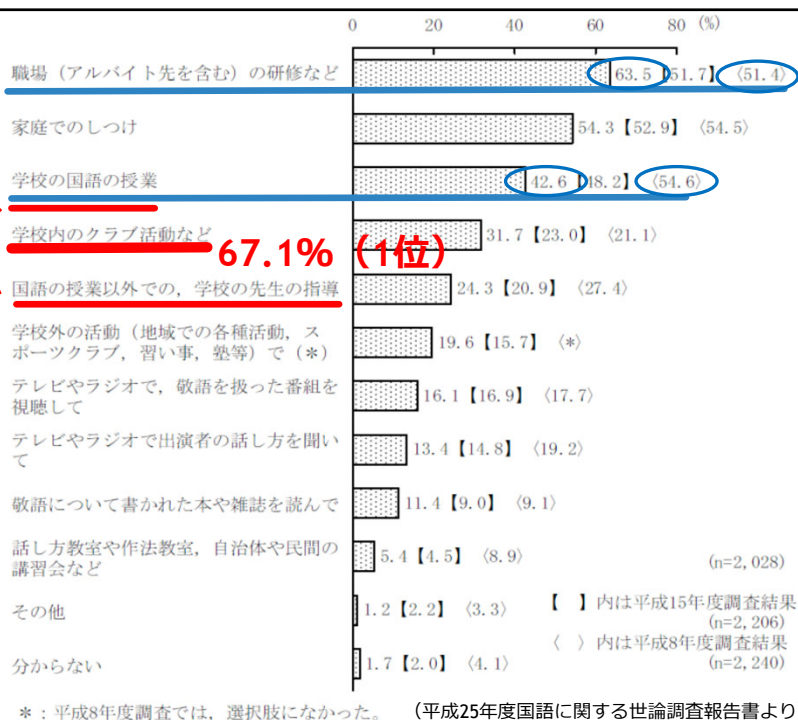
10

2「国語に関する世論調査」敬語に関する項目の結果から

36.6% (同率2位)

「あなたは、今まで敬語をどのような機会に身に付けてきたと思いますか。」
(H25調査)

※16－19歳の回答



第13回（平成26年度）ことのは大賞
一般の部
青少年育成島根県民会議会長賞
（千葉県 梶政幸さんの作品
／イラスト 伊藤巴さん）

島根県HPより



2 「国語に関する世論調査」 敬語に関する項目の結果から

「あなたは、今後とも敬語は必要だと思いますか。」

		H15調査	H25調査
必要だと思う + ある程度必要だと思う(計)		96.1%	98.1%
(内訳)	必要だと思う	→	
	ある程度 必要だと思う		

100.0%

13

2 「国語に関する世論調査」 敬語に関する項目の結果から

「今の国語は乱れていると思いますか。」

⇒ 肯定的回答者を対象に「どのような点で乱れていると思いますか」(三つまで回答)

		H11調査	R1調査
乱れていると思う		85.9%	66.1%
どのような点で 乱れているか	敬語の使い方	54.0%	63.4%
	若者言葉	62.5%	61.3%

14

2 「国語に関する世論調査」敬語に関する項目の結果から

「あなたは、言葉や言葉の使い方について、自分自身に、課題があると思いますか。」（R3調査）

⇒ 肯定的回答者を対象に「どのような課題があると思いますか」（複数回答）

		R3 全世代	R3 16-19歳
課題がある		67.6%	76.2%
どのような 課題があるか	改まった場で、 ふさわしい言葉遣いが できないことが多い	63.5%	49.5%
	敬語を適切に使えない	46.4%	50.5% 1位



15

2 「国語に関する世論調査」敬語に関する項目の結果から

○敬語に対する基本的な認識の広がり

⇒ 今後とも必要であり、伝統的な美しい日本語として、豊かな表現が大切にされるべき。

○3人に2人は国語の乱れを実感

⇒ 主な乱れは「敬語」・「若者言葉」

○若年層は敬語の必要性を強く認識、適切に使おうとする意識も高いが、敬語の学習が習得に結びつく実感は乏しく、敬語の使用に自信が持てないまま課題意識だけが増大している。



16

3 「全国学力・学習状況調査」

敬語に関する問題の結果から



17

3 「全国学力・学習状況調査」 敬語に関する問題の結果から

全国学力・学習状況調査

- 現調査形式はH 1 9 年～
抽出調査の時期を挟み H 2 5 年～ 現行の形
- H 2 9 年 3 月 現行学習指導要領公示
 - ・～H 3 0 A（知識）・B（活用）問題
 - ・ H 3 1 ～ 一体的な問題構成へ変更



18

3 「全国学力・学習状況調査」 敬語に関する問題の結果から

敬語に関する問題の出題状況

- ① H 2 5 ～ 2 9 中学校 A 問題での出題
・正しい敬語を四択で選ぶ

先生もこの書店をよく

- 11.3% ✕ 1 ご利用する 2 ご利用していただく
3 ご利用いたす ○ 4 ご利用になる)
85.7% のですね。
(H 2 9 調査問題より)

※正答率は5年間とも毎年80%台～90%台



19

3 「全国学力・学習状況調査」 敬語に関する問題の結果から

※場面設定、出題傾向に大きな変化

敬語に関する問題の出題状況

- ② H 3 0 小学校 A 問題での出題
・正しい敬語を
四択×2の組み合わせで選ぶ

- 1 ア 来ました イ 言っていた
32.0% ✕ 2 ア いらっしゃいました イ おっしゃっていた
3 ア 来ました イ おっしゃっていた
○ 4 ア いらっしゃいました イ 言っていた
56.0% (H 3 0 調査問題より)

(テキストは国立教育政策研究所HPより)

【話を聞いている様子の一部】

石橋さん みなさん、池田さんが
ア。今日は、おとうふ屋さんの
仕事について、たくさん教えていただきました。池田さん、
お願いします。

池田さん みなさん、こんにちは。

〃 (池田さんの話を聞く) 〃

石橋さん 池田さん、ありがとうございます。池田さんに質問のある人は
いますか。

高野さん おとうふ屋さんは、朝早く起きなければならないので、とても
大変だと私の母が
イ。のです。池田さんはどうですか。

20

3 「全国学力・学習状況調査」 敬語に関する問題の結果から

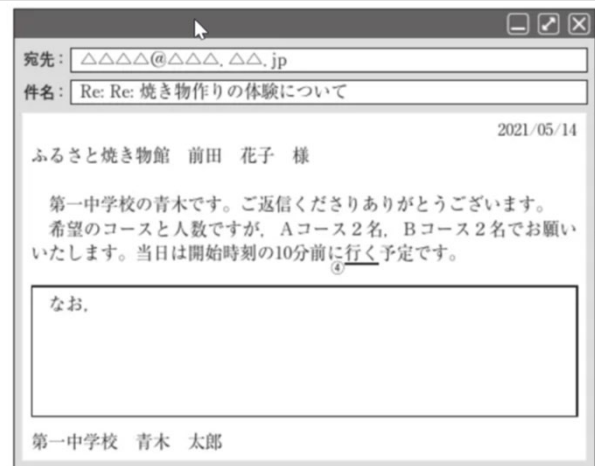
敬語に関する問題の出題状況

③R3 中学校での出題

- ・「行く」を適切な敬語に直し、その敬語の種類を選ぶ

- 1 尊敬語
☒ 2 謙譲語（「伺う」など）
 40.3% 3 丁寧語
 （R3 調査問題より）

（テキストは国立教育政策研究所HPより）



青木さんが送信する「二回目のメールの下書き」



21

3 「全国学力・学習状況調査」 敬語に関する問題の結果から

敬語に関する問題の出題状況

④R5 小学校での出題

- ・インタビューをするときの敬語の使い方についてまとめた文の空欄ア・イに入る語を、四択×2の組み合わせで選ぶ

聞きのがしたことを相手に確かめるとき

〇〇さんが（ア）ことを、もう一度（イ）いいですか。

- 57.8%
☒ 1 ア おっしゃった イ うかがって
 2 ア 申した イ お聞きになって
☒ 3 ア おっしゃった イ お聞きになって
 23.2% 4 ア 申した イ うかがって

（R5 調査問題より）



22

3 「全国学力・学習状況調査」 敬語に関する問題の結果から

結果から見てくること

○尊敬語に比べ、謙譲語や、身内に対する敬語の使い方の理解に課題がみられる

○知識だけを一問一答で問う場合、正答率は8～9割と高いが、組み合わせて問われたり、資料や情報量が増えたりすると、正答率ダウン

⇒ 実はうろ覚えで自信がない？
敬語の学習が敬語の習得に十分つながらず、敬語の使用にも自信がもてずにいる？



23

4 義務教育段階の 敬語学習の現状



24

4 義務教育段階の敬語学習の現状

現行学習指導要領の指導事項

〔知識及び技能〕(1)言葉の特徴や使い方に関する事項

(小) 第1学年及び第2学年

キ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文にも慣れること。

(小) 第3学年及び第4学年

キ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文にも慣れること。

(小) 第5学年及び第6学年

キ 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。

(中) 第2学年

カ 敬語の働きについて理解し、語や文章の中で使うこと。

(中) 第3学年

工 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこと。



25

4 義務教育段階の敬語学習の現状

敬語の学習内容について (島根県現採択教科書の記載内容より)

○小5

- ・敬語：人に敬意を表す、丁寧に言うときの言葉遣い
- ・尊敬語：相手や話題になっている人を高める
- ・謙譲語：自分や身内の動作を低める、謙遜して言う
- ・丁寧語：相手に対して物事・事柄を丁寧に言う

○中2

- ・敬語、尊敬語、謙譲語、丁寧語について
※小学校よりも語彙量多く詳細な説明
- ・謙譲語Ⅱ（丁重語、動作の向かわない聞き手への敬意を表す謙譲語）、美化語についても記載



26

4 義務教育段階の敬語学習の現状

配当時間（島根県現採択教科書 2 社作成の年間指導計画例より）

- 小 5（年間授業時数175時間中）
 - ・ A 社： 2 時間 ・ B 社： 2 時間
- 中 2（年間授業時数140時間中）
 - ・ A 社： 2 時間 ・ B 社： 1 時間

⇒ 「教科書を学ぶ」授業、
知識の理解に終始する授業
になる懸念



27

4 義務教育段階の敬語学習の現状

県内指導主事アンケート（N=31 n=18）

○敬語の授業時間数

- ・ 小 5（計 9 名） 2 時間： 9 名
- ・ 中 2（計 5 名） 1 時間： 1 名
2 時間： 3 名 3 時間： 1 名

謙讓語と尊敬語を理解させる
のが難しかった

この時間だけで理解させる
のは難しい

実践的活動や教科横断的にする
など工夫が必要

○資質・能力を身に付けるのに十分な時数だったか

- ・ 小 5：十分 1 おおむね充足 6 やや不足 2
- ・ 中 2：おおむね充足 3 やや不足 2

○言語活動（小 5 で 5 / 9、中 2 で 4 / 5 が実施）

- ・ 修学旅行や社会科見学等での活動の事前練習
- ・ 対話演習、ロールプレイを実施（店員と客、社長と社員、
先生と生徒、電話の対応、職員室の出入りなど）



28

4 義務教育段階の敬語学習の現状

敬語の指導における重要な点（文部科学省学習指導要領解説より）

○小5 ⇒ 相手との関係を意識しながら敬語を理解する
日常生活の中で敬語を使うことに慣れるように

○中2 ⇒ 相手や場面に応じて適切に使い分け
「書くこと」の指導事項との関連を図る

学んだことを実際に使ってみる機会づくりが大切



体系的な基礎知識と実践的な敬語習得を橋渡し



29

4 義務教育段階の敬語学習の現状

県内指導主事アンケートより

「児童生徒が敬語を身に付けるのに重要な機会とは？」

1位 学校の国語の授業（83.3%）

2位 家庭でのしつけ（77.8%）

3位 国語の授業以外での学校の先生の指導（72.2%）

子どもたちには正しい日本語・敬語を相手、時、場面に応じて使えるようになってほしい。

尊敬語や謙譲語を普段耳にすることも使うこともない状況の中では定着しなくて当然。

日ごろから、子どもが発言する際には「～です（ます）。」まできちんと言い切るように促した。

生きて働く敬語の力には、日々の指導、教師自身の言葉遣いを含めた環境づくりが必要。



30



ご清聴ありがとうございました